

平成29年度

事業報告書

一般財団法人 さっぽろ健康スポーツ財団

1 指定管理施設の運営事業

(1) 札幌市体育施設の利用状況（単位：人）

ア 札幌市体育館グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
北区体育館	185,743	30,988	216,731
東区体育館	130,329	30,068	160,397
白石区体育館※1	89,082	17,160	106,242
厚別区体育館	131,605	38,562	170,167
清田区体育館・温水プール	235,274	30,467	265,741
体育館	149,252	29,422	178,674
プール	82,464	345	82,809
体育館・プール共通	3,558	700	4,258
豊平区体育館	101,079	61,799	162,878
南区体育館	126,622	21,948	148,570
西区体育館・温水プール	307,619	35,760	343,379
体育館	170,131	35,652	205,783
プール	133,281	108	133,389
体育館・プール共通	4,207	—	4,207
手稲区体育館	134,061	31,107	165,168
中央体育館	65,429	80,222	145,651
中島体育センター	99,936	31,863	131,799
宮の沢屋内競技場	20,147	24,344	44,491
白旗山競技場	2,947	16,626	19,573
合計	1,629,873 (前年度 1,616,085)	450,914 (前年度 431,050)	2,080,787 (前年度 2,047,135)

※1 札幌市における改修工事のため8月1日から12月31日の間休館（全館）

イ 札幌市温水プールグループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
厚別温水プール	127,881	1,524	129,405
豊平公園温水プール	73,175	1,418	74,593
平岸プール	143,089	30,134	173,223
白石温水プール	78,796	2,492	81,288
手稲曙温水プール	123,077	1,197	124,274
東温水プール	137,311	6,266	143,577
合計	683,329 (前年度 676,888)	43,031 (前年度 31,395)	726,360 (前年度 708,283)

ウ 札幌市美香保体育館

施設名	個人利用	専用利用	合計
美香保体育館	39,917	90,107	130,024
体育館	7,850	34,023	41,873
スケート場	32,067	8,807	40,874
公園野球場	—	47,277	47,277
合計	39,917 (前年度 36,905)	90,107 (前年度 95,816)	130,024 (前年度 132,721)

エ 札幌市スケート施設グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
月寒体育館	75,310	53,689	128,999
体育館	33,282	—	33,282
スケート場	42,028	53,689	95,717
月寒屋外競技場	0	15,064	15,064
ラグビー場	—	7,445	7,445
庭球場	—	7,619	7,619
弓道場※1	0	0	0
星置スケート場	15,896	32,451	48,347
どうぎんカーリングスタジアム	—	47,548	47,548
合計	91,206 (前年度 86,850)	148,752 (前年度 172,978)	239,958 (前年度 259,828)

※1 札幌市における防矢ネット設置のため4月29日から10月31日の間休止

オ 札幌市屋外競技場施設グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
円山総合運動場	23,904	277,634	301,538
野球場	—	140,807	140,807
陸上競技場	16,763	75,545	92,308
庭球場	—	58,193	58,193
補助競技場	—	2,968	2,968
スケート場	7,141	121	7,262
麻生球場	—	73,416	73,416
野球場	—	70,814	70,814
庭球場	—	2,602	2,602
厚別公園	55,102	123,865	178,967
主競技場	34,755	118,041	152,796

	補助競技場	4,603	5,824	10,427
	トレーニングルーム	15,744	—	15,744
合	計	79,006 (前年度 74,758)	474,915 (前年度 478,876)	553,921 (前年度 553,634)

カ 札幌市スポーツ交流施設

施設名	個人利用	専用利用	合計	
スポーツ交流施設	100,241	988,700	1,088,941	
屋内グラウンド	81,707	955,686	1,037,393	
屋外テニスコート	—	10,845	10,845	
パークゴルフ場	18,534	—	18,534	
屋外球技場	—	8,404	8,404	
イベント広場	—	13,765	13,765	
合	計	100,241 (前年度 105,014)	988,700 (前年度 1,025,856)	1,088,941 (前年度 1,130,870)

キ 札幌市藤野野外スポーツ交流施設

施設名	個人利用	専用利用	合計	
藤野野外スポーツ交流施設	808,029	878	808,907	
夏季利用	5,835	—	5,835	
スキ—場	802,194	—	802,194	
リ्यूージュ競技場	—	878	878	
合	計	808,029 (前年度 889,789)	878 (前年度 698)	808,907 (前年度 890,487)

(単位：人)

体育施設合計	5,628,898
--------	-----------

(2) 札幌市健康づくりセンターの利用状況 (単位：人)

施設名	個人利用	専用利用	合計	
中央健康づくりセンター	124,433	—	124,433	
西健康づくりセンター	157,234	—	157,234	
東健康づくりセンター	56,128	—	56,128	
合	計	337,795 (前年度 316,522)	— (前年度 —)	337,795 (前年度 316,522)

(3) 札幌国際交流館の利用状況（単位：人）

施設名	個人利用	専用利用	合計
国際交流館	80,737	23,412	104,149
プール	51,214	0	51,214
体育室	29,445	6,017	35,462
総合	78	—	78
ライラックホール	—	17,395	17,395
合計	80,737 (前年度 72,091)	23,412 (前年度 21,381)	104,149 (前年度 93,472)

全施設合計

(1) + (2) + (3) (単位：人)

今年度利用者数	6,070,842
前年度利用者数	6,132,952
増減	-62,110

2 学校施設の開放事業/受託事業

(1) センター管理校の利用状況（単位：人）

施設区分	体育館	グラウンド	格技室	文化開放	合計
開放校数	169	32	15	16	232
開放期間	通年	5月～9月	通年	通年	—
利用者数	613,673 (前年度 603,858)	21,758 (前年度 24,507)	15,776 (前年度 14,081)	23,332 (前年度 22,023)	674,539 (前年度 664,469)

(2) 自主管理校の利用状況（単位：人）

施設区分	体育館	グラウンド	合計
開放校数	112	2	114
開放期間	通年	5月～10月	—
利用者数	667,160 (前年度 656,991)	1,769 (前年度 1,737)	668,929 (前年度 658,728)

(3) プール開放の利用状況（単位：人）

施設区分	プール
開放校数	195
開放期間	7月～8月の土日
利用者数	63,300 (前年度 59,296)

学校施設の開放合計

(1) + (2) + (3) (単位：人)

今年度利用者数	1,406,768
前年度利用者数	1,382,493
増減	24,275

3 地域スポーツ普及振興事業 (6,197 事業 134,501 人)

(1) スポーツ教室事業 (6,003 事業 94,628 人)

各施設において、技術の向上や、健康・体力づくりを目的とし、各種教室事業を実施した。

一般事業においては、近年、子どもの体力づくりへの関心が高まる中、「バドミントン教室」や「フットサル教室」などの球技系種目のほか、幼児向けの「体操教室」や、小学生向けの「ダンス教室」などを実施し、子どもの体力づくりの場を順次拡大した。また、会社勤めの成人にも参加いただけるように「ナイトヨガ」などのフィットネス教室を実施したほか、「健康体操」や「水中ウォーキング教室」など高齢者がスポーツをはじめるきっかけとなるプログラムを実施した (5,742 事業 84,238 人)。

その他高等教育機関及び専門機関との連携事業として、北翔大学との「げんきキッズ」や日本ランニング機構との「さっぽろアスレティクスアカデミー」などのスクール事業 (81 事業 1,290 人) を継続実施するとともに、学校開放施設を利用した「ヨガ教室」や「バドミントン教室」 (7 事業 143 人)、「カーリング」や「アイスホッケー」などのウインタースポーツ活性化のための教室 (172 事業 8,928 人)、東区の複数施設を利用する施設間同事業「わくわくスポーツ倶楽部」 (1 事業 29 人) など、季節や地域ニーズに応じた幅広い教室を実施した。

(2) スポーツ大会、スポーツイベント事業 (135 事業 27,938 人)

各施設において、「体育の日無料開放」や「さっぽろスポーツ DAY*」の無料開放 (50 事業 16,822 人) をはじめ、地域のスポーツ活動の支援となるバドミントンや卓球、フットサルなどの多種多様なスポーツ大会、ダンス発表会やプールフェスタなどのイベント事業を開催した (44 事業 5,479 人)。

また、参加者の交流と継続意欲を高めることを目的に、スポーツ教室受講生を対象とした大会や、供用時間外に行う朝野球大会、スポーツナイトリーグなど、複数の管理施設合同の事業 (21 事業 2,408 人) やウインターレクリエーション活性化のための大会、イベント (20 事業 3,229 人) を開催した。

*さっぽろスポーツ DAY は、市民の皆さまが健康とスポーツへの関心を深め、スポーツや健康づくりのきっかけとなるよう、当財団 30 周年を契機に管理施設において、毎年 5 月 5 日を「スポーツ・健康づくりの日」として一斉に実施。

(3) スポーツキャラバン事業 (50 事業 1,789 人)

町内会及び PTA、企業などが行うスポーツ・健康づくり活動の促進を目的に、指導者の派遣、スポーツ用具の貸し出しなどを行った。

ア イベント運営請負 (地域イベントにおけるスポーツ体験コーナーの運営) 4 事業 453 人。

イ 出前講習会 (民間企業などにおける体組成測定の実施) 3 事業 122 人。

ウ 指導員派遣 (保健センターなどの講座への指導員派遣) 12 事業 1,214 人。

エ ニュースポーツ用具のレンタル (ストラックアウトなどのレクリエーション用具を市民に貸し出し) 31 事業。

(4) 歩くスキー常設コース事業／受託事業 (2 事業 白旗山 2,592 人／中島公園 6,375 人)

冬季間、歩くスキーの常設コースを白旗山競技場と中島公園に設置・管理するとともに、中島公園においてスキー用具の無料貸し出しを行った。

(5) ウォーキングステーション事業 (5 事業 14 コース 850 人)

管理 5 施設をスタート・ゴール地点とした、国際市民スポーツ連盟 (IWV) のイヤールウンドコースを設置し、距離の認定を行った。

(6) ウィンタースポーツ塾 (1 事業 6 学年 240 人)

札幌市からの受託事業として小学生を対象に 3 日間に渡りウィンタースポーツ 6 種目 (クロスカントリースキー・スキージャンプ・スノーボード・カーリング・フィギュアスケート・リュージュ) の体験会を実施し、企画・運営を担った。

(7) ウィンタースポーツ塾無料体験（1事業 5種目 89人）

ウィンタースポーツ塾体験者の中から再度の体験希望者を対象にウィンタースポーツ種目5種目（クロスカントリースキー・スノーボード・カーリング・フィギュアスケート・リュージュ）の無料体験会を実施した。

4 健康・体力づくり相談事業（健康づくりセンター 636事業 88,394人）

(1) 健康増進・運動指導事業／指定管理事業（72事業 68,658人）

ア 健康増進・健診事業（8事業 6,313人）

健康状態の把握に必要な検査と体力測定及びこれに基づき生活・栄養・運動などの総合指導プログラムを提供する「健康度測定」を行った（4事業 1,495人）。

また、健康診断を受ける機会が少ない18歳から39歳の女性を対象とした「女性のフレッシュ健診」や、保健師、管理栄養士、理学療法士が専門的立場から利用者への相談及び指導を行った（4事業 4,818人）。

イ 運動指導事業（64事業 62,345人）

市民の健康づくり活動の実践の場として健康増進を図るため、運動フロアにおける運動機器の利用指導、「エアロビクス」「筋トレ」などの自由参加プログラム、「ウォーキング講習」など（32事業 60,806人）、健康度測定受診者などへの個別運動指導を行った（3事業 929人）。

また、各区保健センター主催の生活習慣病予防教室への運動指導員派遣や豊平区体育館・厚別区体育館における健康サポート教室、地域の健康づくりを担う人材の育成を目的とした「ロコモサポーター養成講座」などを行った（29事業 610人）。

(2) 健診・指導業務／受託事業（12事業 686人）

ア 健診事業（3事業 423人）

中央健康づくりセンターにおいて、各保険者が行う「特定健康診査」のほか、受診希望者に対して「大腸がん検診」及び「緊急肝炎ウイルス検査」を行った。

イ 指導業務（9事業 263人）

国保加入の特定健康診査受診者で「特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）」の対象となった方に、生活習慣の改善を目的とした保健・栄養・運動の指導を行った。

また、上記の特定保健指導参加者で「運動お試し券」を持参された方に、健康づくりセンターのほか、白石区体育館、南区体育館、清田区体育館・温水プールにおいて個別運動指導を行った。

(3) 自主事業（552事業 19,050人）

ア 健康スポーツライフ応援事業など（520事業 12,946人）

健康・体力づくりをはじめ、生活習慣病や膝痛・腰痛の予防などを目的とした教室や健康づくり活動に対する動機づけとなる講座（396事業 10,037人）のほか、子どもの体力・運動能力などの向上と、高齢者の健康維持・促進や生きがいづくり支援のための各種教室（69事業 977人）を行った。

また、保健センターや事業所、学校などへ健康運動指導士、理学療法士などを派遣し、健康づくりに関する実技指導や健康講座などを行ったほか、健康度測定受診者対象のオプション検査等の実施や運動指導従事者等を対象とした研修会などを開催した（55事業 1,932人）。

イ スポーツ施設における健康づくり事業（32事業 6,104人）

健康づくりセンターと北区体育館、白石区体育館、南区体育館、清田区体育館・温水プールを健康づくりネットワークシステムで繋ぎ、健康運動指導士、理学療法士などによる健康体力測定及びその結果に基づく個別運動指導や健康サポート教室などを行ったほか、東温水プール、宮の沢屋内競技場において健康サポート事業を実施した。

5 国際交流推進事業（289 事業 7,019 人）

(1) 国際交流事業／指定管理事業（20 事業 3,764 人）

札幌国際交流館において、留学生や研修員などの外国人とのスポーツ交流会「白石子どもワンダーランド」や「世界ふれあいひろば」を開催したほか、「JAPAN カルチャーDay」や「お正月を楽しもう」といった文化交流会及び、言葉が分からなくてもスポーツを通じ気軽に研修員と交流できる「外国人とスポーツを楽しもう」を開催するなど、JICA や公益財団法人札幌国際プラザ、白石区などと共催で、市民と外国人がスポーツ・文化活動などを通じて相互理解及び親善を深め、国際交流を推進する事業を実施した。

(2) スポーツ教室事業など（269 事業 3,255 人）

技術の向上や、健康・体力づくりを目的とし、テニス教室をはじめとする各種競技種目から「ベリーダンス」や「ZUMBA」など各国にゆかりのあるフィットネス教室などを開催し、継続的な運動の機会を提供した。

6 地域コミュニティ活性化事業（63 事業 17,877 人）

区役所、商店街組合、町内会などと連携し「雪っていいね ていね」や「新さっぽろ冬まつり」など地域活性化の活動・イベントに運営参画するとともに、施設近隣の住民を対象とした「みんなで楽しく泳ごう（水上安全講習会）」などの啓発事業を実施した（指定管理施設内：31 事業 10,910 人、指定管理施設外：32 事業 6,967 人）。

7 情報提供及び調査研究事業

(1) イベント・教室などの募集情報の提供

新聞折り込み広告、地域ミニコミ誌、ローカル FM 局、町内会回覧板などの各種媒体の活用により、健康・スポーツ及び国際交流に関する情報を積極的に発信し、施設の利用を促進した（北海道新聞折り込み広告、日刊スポーツ新聞紙面広告、ふりっぱー、北海道ランニングガイドなど）。

(2) 財団広報誌「ヘルス&スポーツライフ」の発行

健康・スポーツ及び国際交流情報を広く提供するため、「ヘルス&スポーツライフ」（Health & Sports Life：年 4 回、各 10,000 部）を発行した。

誌面には、札幌市を拠点に活躍するトップアスリートの特集インタビューを毎号掲載した。

ア 108 号～北海道コンサドーレ札幌バドミントンチーム

イ 109 号～NPO 法人セカンドサポート理事長 芳賀 博信

ウ 110 号～長野冬季オリンピックスキージャンプ団体金メダリスト 雪印メグミルクスキー部監督 原田 雅彦

エ 111 号～プロテニス選手 内山 靖崇

(3) 財団ホームページにおける情報の提供

年齢や障がいの有無に関らず、誰にとっても分かりやすく利用しやすいホームページとなるよう、ウェブアクセシビリティ方針を策定しホームページに公開するとともに、アクセシビリティに関する日本工業規格 JIS X 8341-3:2016 の適合レベル AA に準拠した。

また、ホームページから教室申込が行なえる機能を追加し、申込者の利便性の向上を図った。

(4) 医科学的な調査研究及び分析並びに成果・情報の提供

健康・スポーツに関する調査研究を行い、医科学的根拠を持った情報・プログラムを市民、関係機関へ発信した。

8 スポーツ大会・イベントの開催(14事業 65,001人)

(1) 第40回記念北海道を歩こう

札幌市立真駒内中学校をスタートし、真駒内カントリークラブまでの10kmコースと支笏湖ポロピナイまでの33kmコースを開催した。初夏の北海道を満喫するウォーキングイベント。

開催日：5月28日(日)

会場：真駒内中学校～真駒内カントリークラブ～支笏湖ポロピナイ

種目：10km、33km

参加人数：1,262人

(2) 6時間リレーマラソン in 札幌ドーム2017

1周2kmの札幌ドーム特設コースをチームでたすきをつなぎながら走るリレーマラソン。

開催日：7月23日(日)

会場：札幌ドーム

種目：6時間リレーマラソン、42.195kmリレーマラソン

参加者数：1,104チーム9,603人

(3) 第42回札幌マラソン

北日本最大級の市民ハーフマラソン大会。ハーフマラソン及び10kmは公益財団法人日本陸上競技連盟公認コース。

開催日：10月1日(日)

会場：真駒内セキスイハイムスタジアム他

種目：ハーフマラソン、10km、5km(オープン・車イス)、中学生(3km)、小学生(3・2km)、ファンペア(3・2km)、車イスオープン1km

参加者数：12,705人

(4) 第38回札幌国際スキーマラソン大会

クロスカントリースキーの普及を図る国際連盟「ワールドロペット」に加盟する国内唯一の大会。海外からも多くの参加を受け、国際色豊かな大会となった。

開催日：2月4日(日)

会場：札幌ドーム、旧西岡オリンピック記念競技場を含む周辺コース

種目：スキーマラソン50km・25km、歩くスキー11km・5km・3km、キッズチャレンジ100m

参加者数：1,856人

(5) スポーツ大会・イベントとの連携・協力事業

ア ウェーブエンペラーカップ(5月7日)参加者数：60人

イ 第11回さっぽろトリム&ラン(6月11日)参加者数：766人

ウ 第21回北の都札幌ツデーウォーク(6月24日・25日)参加者数：2,700人

エ 2017札幌30K(7月8日)参加者数：743人

オ 第42回札幌小学生陸上競技教室(8月5日)参加者数：123人

カ 北海道マラソン2017(8月27日)参加者数：18,962人

キ 北海道ハイテクAC第8回札幌小学生陸上競技クリニック(12月23日)参加者数：48人

ク ウィンタースポーツフェスタ in 大倉山(2月11日)約1,881人

ケ 大通公園ウィンタースポーツフェスティバル(2月25日)来場者数：12,854人

コ 2018札幌市室内陸上競技大会(3月18日)参加者数：1,438人

9 物品販売・貸付及び飲食店業

売店、自動販売機、コインロッカー、ドライヤー、レストラン、スポーツ用具貸出を実施した。

10 その他事業

(1) 関係団体との連携・協力事業

ア 「スポーツ・フォー・トゥモロー」コンソーシアムの登録

登録会員としての認定事業である札幌国際スキーマラソン大会等において、PR 活動を実施したほか、競技規則の変更等により当財団所管施設で使用が出来なくなったスポーツ用品を発展途上国へ提供した。

イ 「札幌グローバルスポーツコミッション」への参画

札幌の豊富なスポーツ資源を最大限に活用することにより、国際大会や事前合宿、スポーツイベントの誘致を目指す「札幌グローバルスポーツコミッション」の運営に参画し、国内外へ国際都市札幌の魅力を発信するとともに、インバウンド振興など交流人口の拡大に協力した。

ウ 北海道歩くスキー協議会の運営

北海道内の歩くスキー、クロスカントリースキー16大会が加盟する同協議会の事務局を担い、大会相互の連携と発展を図った。

エ スポーツボランティアの育成支援

スポーツイベントの活性化を図るため、NPO 法人日本スポーツボランティアネットワークに加盟し、「スポーツボランティアリーダーライセンス更新講習」を開催した。

また、財団ホームページにおいて道内のスポーツボランティア募集情報を随時掲載し、人材確保を支援した。

オ 「事業連携包括協定」の締結

北翔大学との間で、学生が札幌マラソンなどの運営に携わる「事業連携包括協定」により、各種大会の運営に学生が携わった。北海道を歩こう、北の都札幌ツーデーウオーク、札幌 30K、6 時間リレーマラソン、札幌マラソン、札幌国際スキーマラソン大会の 6 事業に、計 160 人が従事した。

また、協働事業として、北翔大学が運動プログラムの検証・分析を行う「げんきキッズ教室」を 8 施設で実施した。

カ スポーツ指導者及び施設運営管理者の育成

公益財団法人日本体育施設協会及び順天堂大学との連携による「体育施設管理士養成講習会（43 人参加）」、一般社団法人幼少年体育指導士会との連携による「幼少年体育指導士認定講座（63 人参加）」を開催し、健康・スポーツ施設の運営管理者及び指導者を育成した。

キ プロスポーツへの貢献事業

札幌市を拠点とする以下のプロスポーツ団体の活動を支援した。

(ア) 北海道コンサドーレ札幌

a クラブパートナー契約の締結

b 協働事業として、通年で様々なスポーツ体験を行う「スポーツスクール in Fu' s」を実施

(イ) エスポラーダ北海道

a オフィシャルパートナー契約の締結

b 中央体育館にて女子フットサルスクールを協働開催、その他 6 施設で SHSF フットサル教室を協働開催

c 美香保体育館にて F リーグ公式戦を財団マッチデイとして開催

(ウ) レバンガ北海道

a オフィシャルスポンサー契約の締結

b 協働事業として、バスケット交流戦（体育館グループ合同事業）を開催

ク 職員の派遣、役員就任など

札幌市スポーツ局スポーツ部（1名）、一般財団法人札幌市体育協会（1名）の職員派遣を行い、団体の活動を支援した。

また、「さっぽろグローバルスポーツコミッション委員」など、委員への就任による運営協力、「第46回全道少年野球大会」、「第13回豊平川市民マラソン」などのスポーツ大会の後援（59事業）を行い、スポーツと健康づくりの活動を支援した。

ケ 高等教育機関と連携したデザインの制作

札幌市立大学デザイン学科と連携し、各施設で作成する配布物のデザイン向上に取り組んだほか、チラシ作成の内部研修を実施した。

(2) 社会貢献及び環境美化活動

ア 環境保全活動

関係団体との連携による河川敷清掃、植栽などの実施、ペットボトルキャップの回収（回収累計22,991キログラム）、環境教育へのクリック募金への協力（寄付金額240,000円）、「生物多様性さっぽろ応援宣言企業」への登録など、環境保全活動に積極的に協力した。

イ 地域防犯活動

地域における防犯・安全活動への協力として、31施設で「札幌市地域安全サポーターズ」へ登録し、地域の防犯パトロールや、子ども110番の店として防犯活動を推進した。

また、連合町内会及び警察署などに協力し、地域における交通安全啓発運動に協力した（月寒体育館、どうぎんカーリングスタジアム、藤野野外スポーツ交流施設）。

ウ 地域への安全なスポーツ環境の提供

さっぽろ救急サポーターとして、各施設には応急手当のできる職員を配置し、速やかに応急手当が行える環境を整えた。また、札幌市水上安全赤十字奉仕団との協働による「水上安全講習会」や「水上安全法救助員養成講習会」を開催するなど、地域の安全・安心なスポーツ活動の実施に協力した。

エ インターンシップなどの推進

インターンシップや職場体験学習を積極的に受け入れ、学生や産業界などの活動を支援した（受け入れ件数：142件、延べ人数：942人）。

オ 障がい者就労施設などへの協力

障がい者就労施設（障がい者支援施設、就労継続支援B型事業所など）から物品購入、印刷発注などを行い、地域の福祉施策へ積極的に協力した。

カ さぽーとほっと基金への寄付

各施設に設置の自動販売機売り上げに係る手数料収入の一部を「さぽーとほっと基金」に寄付し、自動販売機及び当財団ホームページにおいて周知をした。

キ 募金活動

社会貢献や地域支援などを目的とした関係機関との連携支援として、盲導犬育成支援募金（募金額：109,502円）及び東日本大震災復興支援募金（募金額：平成29年度分38,981円、累計1,728,381円）、熊本地震災害救援募金（募金額：平成29年度154,351円、累計378,952円）などに協力した。

ク 献血への協力

「献血サポーター」として登録し、献血へ積極的に参加することを全職員に呼びかけ、北海道血液センターにて成分献血及び全血献血に協力した。

11 利用者・事業参加者の総数と収支

(1) 総数

内 容	利用者・参加者数（人）
指定管理施設の運営事業（講習会・教室、大会などの参加者数含む）	6,070,842
学校施設の開放事業（講習会など含む）	1,406,768
スポーツ・健康づくり事業の開催など（指定管理施設外）	74,507
地域関係団体・機関との連携事業（指定管理施設外）	6,967
合 計	7,559,084 (前年度 7,616,086)
増 減	-57,002

(2) 収支

収 入 4,371,925,075 円

経 費 4,275,597,139 円

12 処務の概況

(1) 平成 29 年度末理事・監事・評議員

役 職	氏 名	当初就任年月日	就任年月日	常勤・非常勤
代表理事	二木 一重	29. 6. 29	29. 6. 29	常 勤
理 事	上野 輝佳	29. 6. 29	29. 6. 29	常 勤
理 事	星 満	25. 4. 1	29. 6. 29	常 勤
理 事	村上 猛	25. 4. 1	29. 6. 29	常 勤
理 事	廣原 克博	25. 4. 1	29. 6. 29	常 勤
理 事	佐藤 照幸	25. 4. 1	29. 6. 29	常 勤
理 事	川島 行雄	27. 6. 26	29. 6. 29	常 勤
監 事	山口 淳一	25. 4. 1	29. 6. 29	非常勤
監 事	水野 克也	24. 7. 1	29. 6. 29	非常勤
評 議 員	川上 敏正	27. 7. 1	29. 6. 29	非常勤
評 議 員	川初 清典	25. 4. 1	29. 6. 29	非常勤
評 議 員	黒島 隆一	25. 4. 1	29. 6. 29	非常勤
評 議 員	手島 久仁彦	28. 7. 1	29. 6. 29	非常勤
評 議 員	富田 秀則	28. 7. 1	28. 7. 1	非常勤
評 議 員	晴山 紫恵子	25. 4. 1	29. 6. 29	非常勤
評 議 員	堀田 真理	29. 6. 29	29. 6. 29	非常勤
評 議 員	柳原 正明	28. 4. 1	29. 6. 29	非常勤

(2) 平成 29 年度末職員数

職種／性別	男 性	女 性	合 計
正 職 員	116 人	36 人	152 人
嘱 託 職 員	63 人	51 人	114 人
臨 時 職 員	20 人	10 人	30 人
パート職員	215 人	407 人	622 人
合 計	414 人	504 人	918 人

(3) 理事会・評議員会の開催状況

ア 理事会

開催年月日	議事事項
第 1 回 平成 29 年 6 月 14 日	(1) 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告について (2) 第 2 号議案 平成 28 年度決算（監査報告）について (3) 第 3 号議案 平成 28 年度公益目的支出計画実施報告について (4) 第 4 号議案 平成 29 年度スポーツ振興くじ助成金交付内定に伴う誓約書の提出について (5) 第 5 号議案 理事及び監事の任期満了に伴う新役員候補者名簿の承認について (6) 第 6 号議案 規程の改正について (7) 第 7 号議案 平成 29 年度第 1 回評議員会の開催について (8) 職務執行状況報告
第 2 回 平成 29 年 6 月 29 日	(1) 第 1 号議案 役職理事の互選について (2) 第 2 号議案 常務理事の業務分担について (3) 第 3 号議案 常勤役員報酬規程の改正について (4) 第 4 号議案 役職理事退職慰労金規程の制定について (5) 第 5 号議案 平成 29 年度収支予算の変更について
第 3 回 平成 29 年 9 月 11 日	(1) 第 1 号議案 規程の改正について (2) 職務執行状況報告
第 4 回 平成 29 年 10 月 31 日	(1) 第 1 号議案 規程の改正について (2) 職務執行状況報告
第 5 回 平成 30 年 1 月 12 日	(1) 第 1 号議案 規程の改正について (2) 職務執行状況報告
第 6 回 平成 30 年 3 月 1 日	(1) 第 1 号議案 平成 29 年度収支予算の変更について
第 7 回 平成 30 年 3 月 29 日	(1) 第 1 号議案 平成 30 年度事業計画について (2) 第 2 号議案 平成 30 年度収支予算について (3) 第 3 号議案 諸規程の改正について (4) 職務執行状況報告

イ 評議員会

開催年月日	議事事項
第1回 平成29年6月29日	(1) 平成28年度事業報告について (2) 平成28年度公益目的支出計画実施報告について (3) 第1号議案 平成28年度決算(監査報告)について (4) 第2号議案 評議員の選任について (5) 第3号議案 理事及び監事の選任について (6) 第4号議案 評議員及び役員の報酬並びに費用に関する規程の改正について

(4) 収支及び正味財産の増減の状況並びに財産の状態の推移 (単位：千円)

	25年 3月期	26年 3月期	27年 3月期	28年 3月期	29年 3月期	30年 3月期
経常収益	3,992,466	4,001,857	4,210,755	4,302,253	4,348,979	4,371,925
経常費用	3,994,900	4,147,978	4,148,763	4,110,747	4,104,954	4,275,598
当期経常増減額	△2,434	△146,121	61,992	191,506	244,025	96,327
経常外費用	-	-	-	-	-	1,517
法人税等	520	520	13,413	73,080	77,484	12,497
当期一般正味財産増減額	△2,954	△146,641	48,579	118,426	166,541	82,313
期首一般正味財産増減額	1,174,388	1,171,435	1,024,793	1,073,373	1,191,801	1,358,342
期末一般正味財産額	1,171,435	1,024,793	1,073,373	1,191,801	1,358,342	1,440,655
期末正味財産額	1,191,435	1,044,793	1,093,373	1,211,801	1,378,342	1,460,655
資産合計	2,494,284	2,440,385	2,675,388	2,836,470	3,003,222	3,053,332
負債合計	1,302,849	1,395,591	1,582,015	1,624,669	1,624,880	1,592,677
正味財産	1,191,435	1,044,794	1,093,373	1,211,801	1,378,342	1,460,655

(5) 公認会計士の関与の有無

会計事務所との監査契約に基づき、年3回の監査と指導・相談を受けている。